

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成27年 6月25日 開会 9時57分 閉会 10時33分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

惣台己吉 柳井一徳 西田久志 大滝文則
井口勇 森下金三

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 上野安是

(2) 説明員

副市長	三宅生一	建設経済部長	三宅道雄
水道部長	笠行眞太郎	建設経済部次長	谷昌彦
水道部次長	妹尾福登	地域創生参与	妹尾光朗
建設経済部参与	武田吉弘	芳井支所長	三宅孝一
美星支所長	金高常泰	地域創生課参事	和田広志
上水道課長	藤井護	都市建設課参事	加賀洋一
上水道課参事	田中伸廣	上水道課長補佐	井岡和浩
都市建設課管理係長	西本勝志		

(3) 事務局職員

事務局長	川田純士	事務局次長	岡田光雄
主査	藤井隆史		

6. 傍聴者

(1) 議員 河合謙治、三宅文雄、坊野公治、三輪順治、宮地俊則
佐藤豊、藤原清和、森本典夫

(2) 一般 0名

(3) 報道 2名

7. 発言の概要

委員長（惣台己吉君） ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 皆さんに、改めましておはようございます。

梅雨入りをして本当に蒸し蒸ししているなというふうな中でも、花の彩りに少し和み、あるいはいやされるようなそんなときかなというふうにも思っております。

さて、56年も前と言いますか、昭和34年の6月25日、きょうであります、プロ野球の初の天覧試合ということで巨人・阪神戦が後楽園球場で行われております。4対4の9回の裏、長嶋茂雄が村山実からサヨナラホームランを打ったというのがこの日であります。

当時は多くの子供達が空き地で棒切れを持ってチャンバラをしてみたり、草野球をしたという時代だったのかなというふうにも思っております。この時代から急速な社会資本整備がなされ経済も急成長したのかなというふうにも思っております。

井原も現在、イバラノミクスということでこういった地域経済を牽引していきたいと気合いも持っております。イバラノミクスが平成25年から、この平成27年も引き続きやっておりますが、現段階における経済効果が累計で52億6000万円になろうかと思っております。雇用の創出も57名の新たな創出を生んでいるということで、文字どおり井原の経済のモデルを着々と構築していきたいというふうにも思っております。

そうした中、本日は建設水道委員会を開催していただきました。皆様方にはご多用の中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。この委員会に付託されております案件であります、条例が1件ということになっております。慎重に審議をいただきながら適切なお決定を賜りたいというふうに思っております。

なお、お手元に配布をさせていただいております定例会の報告事項がございますが、後ほどお目通しのほうをよろしく願い申し上げたいと思います。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

〈副議長あいさつ〉

〈議案第45号 井原市住宅供給条例の一部を改正する条例について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（惣台己吉君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

〈所管事務調査〉

〈平成27年度公共事業等事業計画について〉

委員（大滝文則君） 下水のことでちょっとお尋ねいたします。

昨年度の実施予定では、23.7ヘクタールでこのたびの資料は16.2ヘクタールが26年度施工で、27年度の7月に供用開始が16.2ヘクタールということで、この数字の差、予定が23.7ヘクタールあったのがことしの資料では施工が16.2ヘクタールと書いてあるこの差についてご説明をお願いしたいと思います。

水道部次長（妹尾福登君） 26年度の施工予定面積が23.7ヘクタールということで、ことしのここに書いてあるのが16.2ヘクタールで、その差ということなんですが、ここに書いてあるのは平成27年度の供用開始の面積を書いておりまして、昨年23.7ヘクタールについては、整備面積でありまして、供用面積と整備面積の差がそこに出てきているということでございます。書き方としましては、ここへ供用面積を上げるのがちょっとよくなかったのかなと思います。実際の整備面積は21ヘクタールを整備しております。21と23.7ヘクタールというのは工事の中で変更がありまして、2.7ヘクタールの差は出てきております。ここに書いてあるのは供用開始区域ということで、整備面積でないものを書いておりましたので誤解を招くようなことになっております。申し訳ございません。

委員長（大滝文則君） こういう資料を出されるときに、ことしはこういう資料をつくる、ことしはこういう資料をつくるということで比較がしにくくなりますので統一してもらうようお願いしたいと思いますし、それから先ほど予定が23.7ヘクタールが21ヘクタールということの説明がありましたけれども、その2.7ヘクタールは少なくなったということで、予算的にはこれはどういうふうになるんですかね。予算の執行ということについては約1割くらいの面積が少なくなっておりますけれども、どういうふうな経費になっておりますか。簡単にご説明をお願いします。

水道部次長（妹尾福登君） 補助事業で工事をしておりますので事業分については消化しているという形になりますが、面積につきましては実施設計のほうで若干変更があったということでございます。

委員（西田久志君） 残土処理場の整備事業なんですけれど、池谷、野上があるんですけど、どういう工事であとどのくらい受け入れられるかを教えていただきたい。

建設経済部次長（谷 昌彦君） 残土処理場の整備工事ですけど、のり面の整備と排水に係る水路の整備を計画いたしております。こちらにつきましては今年度で大方受け入れ状態が満杯になるのではないかなと考えております。池谷のほうにつきましては20万立米ぐらいの搬入を見込んでおまして、約7、8年ぐらいの搬入ができるのではないかなと考えております。

以上でございます。

委員（西田久志君） 野上はことしで満杯ということでしょうか。

建設経済部次長（谷 昌彦君） 野上のほうは、ことしぐらいで満杯になるという予測をしております。

〈なし〉

委員長（惣台己吉君） 本件については終わります。

以上で所管事務調査を終わります。

閉会に当たり、執行部より何かございましたらお願いをいたします。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして一言お礼を申し上げたいというふうに思います。

委員の皆様方には、終始熱心にご議論いただきました。なおかつ、適切なお決定を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げたいと思います。通じていただきましたご意見等、あるいは資料等の作成については今後そういったことを踏まえて適切にやっていきたいというふうに思います。今後とも確かな行政を進めていきたいというふうに思いますので、委員の皆様方にもよろしくご協力、ご理解のほうをお願いします。

本日はどうもありがとうございました。

委員長（惣台己吉君） 以上で建設水道委員会を閉会いたします。